

令和2年度(2020年度)政府予算等に関する
要 望 書
【四国への新幹線導入】

令和元年(2019年)8月

平素は、四国地域発展のため、格別の御支援を賜り、深く感謝申し上げます。

鉄道は、定時性や輸送力に優れた輸送インフラであり、特に新幹線はわが国の鉄道網の骨格として都市と地方、地方相互を短時間で結び、国家の発展に大きく貢献してきました。しかしながら、全国各地で新幹線の整備が進む中、四国は唯一新幹線の具体的計画のない地域として取り残され、その利便性を十分に享受することができず、地方創生に取り組む他地域との競争に大きく後れを取っています。また、地域の鉄道事業者は、急速な人口減少や高速道路に対する競争力の欠如からその経営環境はますます厳しさを増しつつあり、新幹線なくしてその将来の姿を描けなくなっています。

四国の新幹線は、四国の将来を見据えた地域づくりに必要不可欠なインフラであることはもとより、西日本における広域交流圏の形成や南海トラフ地震をはじめとする大規模災害への対応力向上、リダンダンシーの確保など、国土全体の一段の有効活用、さらには既存の地域公共交通の活用にも大きく寄与するものと考えます。

また国は、リニア中央新幹線で三大都市圏をつなぐスーパー・メガリージョンの早期形成や新大阪駅を新幹線ネットワークのハブとして位置付ける「地方創生回廊中央駅構想」などに取り組んでいますが、そうした効果を広く地方に波及させるためには、四国を含めて全国を新幹線ネットワークで結ぶことが不可欠であります。

四国は、「四国新幹線整備促進期成会」を中心に、四国一丸となって、その早期実現に向けた様々な取組みを進めてきました。今後も具体的な目標設定のもと、地域の機運醸成や新幹線を活用した街づくりの検討などに精力的に取り組んでいくこととしています。

国には、令和2年度(2020年度)予算において四国の新幹線の整備計画への格上げに向けた法定調査を実施するための措置を講ずるとともに、小規模にとどまっている新幹線建設予算を大幅に増額し、既存整備計画路線の早期完成と基本計画路線の早期事業化を推進し、もって「地方創生回廊」を一日も早く実現するよう要望いたします。

○要望事項

1. 令和2年度(2020年度)予算編成において、四国の新幹線の整備計画格上げに向けた法定調査を実施するための措置を講じていただきたい。
2. 新幹線ネットワークの早期整備による「地方創生回廊」の実現に向けて、新幹線建設予算を大幅増額していただきたい。